

NHK スペシャルを御覧になりましたか？

NHK の映像素材撮影に協力しました。

撮影は、6月下旬のかきの産卵シーンに始まり、コレクターに付着したかき稚貝が殻を形成して成長してゆくさまを連続撮影し、10月下旬にかき養殖筏環境の中で生きている生き物たちの営みを撮影して終了しました。今回撮影された映像は、映像美重視のスペシャル番組に使用されるとのことです。

これらの映像は、当センターが保有しているかき人工採苗に関連した各種技術があったからこそ、計画的な撮影が可能となったものです。

今回の撮影協力は、当センターの保有技術が漁業生産以外の場面でも役立てていただけることを示す事例となりました。



NHK の取材を受けました

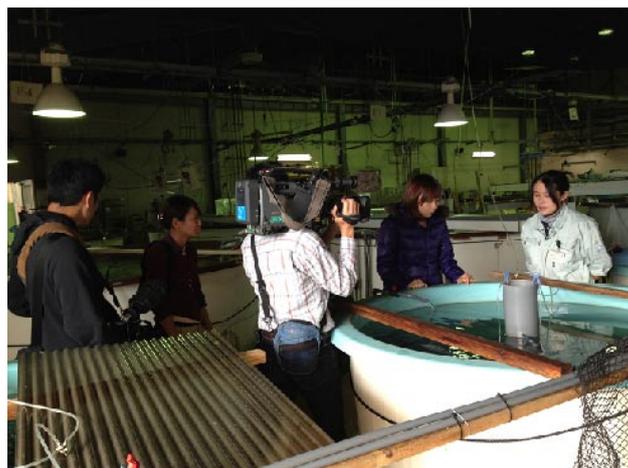
当センターで開発した、ウマヅラハギ肝臓肥大化技術について平成25年11月14日にNHK広島放送局の「お好みワイドひろしま」の取材を受けました。

実際にウマヅラハギを飼育している水槽の前で、肝臓肥大化技術を思い付いた理由や、研究の苦労話、ウマヅラハギ肝臓のフォアグラ化へのまさにキモとなる餌の秘密について説明を行いました。

飼育水槽前での撮影では、テレビでおなじみの眞田佳織レポーターと担当研究員の御堂岡あにせ研究員が女性同士ということもあって意気投合し、終始笑顔で和やかな収録となりました。

11月19日の放送日には実際にスタジオで、試験生産したウマヅラハギの刺身を肝あえで試食していただき、肝の美味しさを十分にアピールできました。

なお、肝臓肥大化したウマヅラハギについては“フォアグラハギ”の名称で商標出願中です。



第50回広島県錦鯉品評会

平成25年11月3日（日祝）に呉ポートピアパークイベント広場で、第50回広島県錦鯉品評会が開催されました。第50回という記念すべき大会であることから、広島県知事（代理：寶来農林水産局長）が来賓として招かれ、挨拶されました。

この品評会は農林水産祭参加行事で、生産技術の練磨と交流により錦鯉養殖業の振興を図るもので、当センターから赤繁センター長が審査委員長として参加しました。

小雨が降ったり止んだりの天候でしたが、県内だけでなく、海外からも多くの愛好家が訪れ、優雅に泳ぐ錦鯉の姿を楽しまれていました。

品評会には648尾の出品があり、そのうち21尾の優秀な出品鯉に対して、農林水産大臣賞をはじめ、水産庁長官賞、広島県知事賞、広島県議会議長賞などの賞が送られました。

